



ピレリグループの健康、労働安全および権利、 環境のための社会的責任ポリシーについて

2010年2月改訂*

ピレリグループは国際的に公表されている人権保護を支持・追求し、業務活動発展上の運用において本質的な重点項目である、社員と環境の一体性、健康、権利、福祉の保護に配慮する。

ピレリグループの活動は取締役会に承認された企業倫理規定に従い、2004年に署名された国連グローバル・コンパクトにおいて想定されている「サステナビリティ・モデル」に沿って実行するものとする。

グループの持続可能な開発戦略は、業務に関連した環境、健康、労働安全面の改善に専念することである。

また、「世界人権宣言」、「労働における基本的原則および権利に関するILO宣言」、「環境と開発に関するリオ宣言」、「国連腐敗防止条約」の内容を遵守し支持するものとする。

この目的の下に、ピレリグループは以下のことに専念する：

- 最も高い国際基準を満たす安全と権利、そして環境をテーマとする業務を管理する；
- 積極的に国内外の大学組織や司法組織と協力し合い、健康、安全と労働者の権利、環境に関する情報を、内外部の「ステークホルダー」に伝達し、普及させる；
- 労働者の健康保護、労働安全、および環境保護において優れたものを得るために、より進んだテクノロジーの導入を促進する；
- LCA（ライフサイクルアセスメント）手法を用いて、自社のプロセス・製品の環境に与える影響を評価し、環境破壊の減少をはかる；
- 環境と次世代の権利を守るために、持続可能な開発を達成できるよう、責任をもって資源を活用する；
- 未成年者の労働と強制労働の実施、その活用の支持は行わない；
- 各個人の育成を促進しながら、男女平等と組織への参加、並びに自由を保証する；
- 肉体的処罰、精神的または肉体的強制、罵詈雑言を禁止する；
- 労働時間に関しては法律と業界標準を守り、給料は個人の生活を保証されるものとする。；
- サプライヤーおよびサブサプライヤーの選出においては、社会および環境責任の分野における彼らのレベルを評価するのに必要な手順を決め、常にそれを保持する；
- いかなる形式または方法によるものでも贈収賄は一切容認しない。いかなる法制度においても、たとえそれが許容、寛容され、法的に追求されない慣習であっても、容認しない；
- 業務上の責任とプロセスにはすべての組織、全社員に正確に定義され、適格に関与させ、明確に理解されていることを保証する。

このポリシーはすべてのグループ企業に向けて発表され、普及されるものとする。

ピレリは、当ポリシーに表現された価値が各企業およびその社員と協力者に正確に反映されるよう、手順、規則、指示実行のための各対策プログラムを常に改善することに取り組むこととする。

ピレリは本ポリシーの適用を通じ、よりよいライフクオリティの条件と手段が、現世代および次世代に伝承されることを確信している。

ピレリ社社長
マルコ・トロンケッティ・プロヴェーラ
Marco Tronchetti Provera